

レファレンスサービス最前線

参照技法を言語化する必要

2023/10/20

講師：小林昌樹（慶應義塾大非常勤講師）

自己紹介



国立国会図書館 (NDL)
東京本館 (永田町)
人文総合情報室

レファレンス・サービス 日本での経緯

サービス輸入失敗史

今まで

- a. 代行業と誤解 = NDL調査及び立法考査局1948-
- b. 貸出との不幸なリンク = 貸出後にやろう 1970



2000年ごろから

- a. **セルフ・レファレンス**の提唱 by 斎藤文男
- b. 第二次レファレンス・ブーム
レファ協DB
パスファインダーの流行

セルフ推奨と言っても

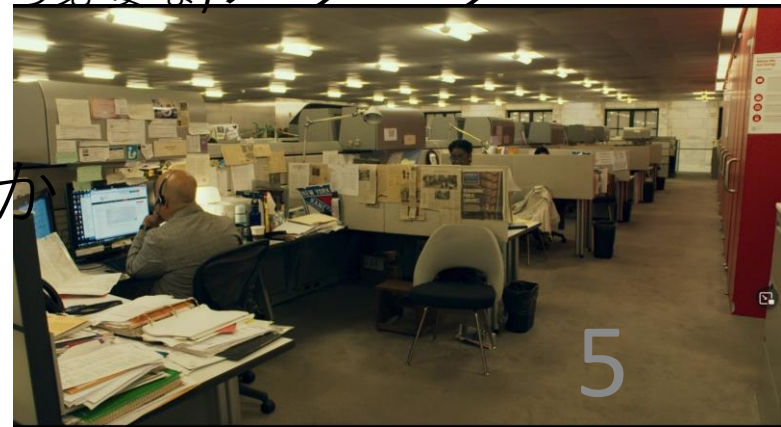
直接サービス継続の必要性

- レファ司書にスキルやツール知識がないと間接業務の質も低下する
- スキルを持つ（維持する）には実際にやり続けないと難しい（適度な・サンプル的な直接業務）

ネットをどう使うか

- ネットだけでも紙資料だけでもダメ。併用
→どう組み合わせるかが(これから必要な)ノウハウ
- NDLデジコレは紙資料とみなす
- ネットからuserをどう取込むか

ニューヨーク公共図書館の
電話レファレンス風景
(ExLibris 2017 より)



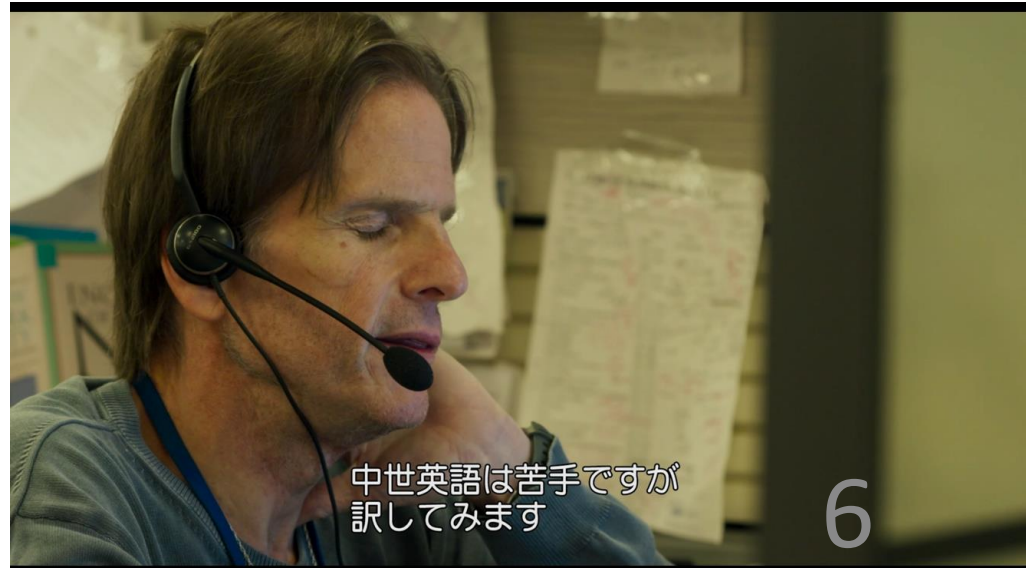
旧来の枠組みを疑う

a. 禁止規定への懷疑

- JLA 公共図書館部会 参考事務分科会参考事務規程（1961）
- 法律がらみ、人生相談、宿題、医療、翻訳なども受けたら（糸賀雅児）

b. ネットとの関係

- 図書館界へネット情報源の取込みが不十分
- ネットからuserをどう取り込むか



中世英語は苦手ですが
訳してみます

レファレンスの技法論

実践されていたが説明は不十分

レファレンスのコツ（骨法）＝
予備知識（浅く広い主題知識＋ツールの知識）
＋考え方（国、時代区分、主題ごとの切り分け法）
＋チップス（ツールのささいな用法上の注意）

技法が可視化されなかった

暗黙知だった理由

- a. NDL調査・立法考査局／NDL一般考査部
＝長居→**職人化**
- b. 図書館界で調査**代行業**であるとの誤解
＝やり方を利用者に教えない
- c. 暗黙知の可視化＝手間=>ツールのリスト

可視化してみた

→小林昌樹『調べる技術: 国会図書館秘伝のレファレンス・チップス』 皓星社、2022

ネット連載が元



技法開発の必要

- 参照技法それ自体

どういう問題の場合、どう考えて、何を、どんな順番で検索するのか。ツールの組み合わせ

- インタビュー術、コレクション形成論とは違う知識
- 技法の切り出しと**名付け**の問題

【先行文献】浅野高史、かながわレファレンス探検隊『図書館のプロが教える〈調べるコツ〉：誰でも使えるレファレンス・サービス事例集』（柏書房、2006）

eg.線香花火の作り方が5類の本に出ず、4類に出た

→「押してもだめなら引いてみる」 ???

「特定の」であるべき

→私なら「**5類でダメなら4類へ**」 or 「**4類5類対照法**」

レファ司書の情報環境

NDL人文課の例 2000s末～

カウンター／事務机



パソコン画面内のデフォ

- a. Google
- b. **人文リンク集**
- c. OPAC (NDLオンライン)

大規模書誌
はネットへ
移行 2000s-

レファ本2万冊 (0,1,2,7,8,9類)

閉架書庫 4600万冊
使うのは協力
レファだけ



デジ化中
→デジコレ247万点



←この部分がノウハウ・コツだった
予備知識 (主題系・ツール系) とチップス

ネット系汎用ツールのありかを知る

NDL人文リンク集

レファレンス実行途中で見つけ、
「使える」か「使えない」か判断した
ものの集積

新DBのお知らせ→NDLカレント、文学通信
のメルマガなどがあるが.....

NDL人文リンク集

- ネット情報源がひととおりリンク（2006- 公開2011-）
- 多くが無料DB

リサーチ・ナビ 調べものに役立つ情報をまとめています 国立国会図書館

リサーチ・ナビについて ヘルプ サイトマップ English

Google 検索

主題から調べる 資料の種類から調べる テーマ別データベース 「探す」ギャラリー

ホーム / 主題から調べる / 人文リンク集

人文リンク集

2022年7月12日 更新 [人文総合情報室](#) 作成

English

人文科学およびジャンル横断的な調べもの（いわゆる総記分野）に役立つデータベースへのリンク集です。
詳細は「[人文リンク集凡例](#)」をご確認ください。

このページでは各分野の代表的なデータベースへのリンクを掲載しています。各ジャンル名をクリックすると、ジャンルごとの詳細なリンク集（詳細画面）が開きます。以下は要約版です。

「*」印は、当館契約データベース（館内限定）のため、名称のみを掲載しています。

▷ [検索エンジン](#) ▷ [蔵書目録](#) ▷ [販売目録](#) ▷ [和古書・漢籍目録](#)
▷ [全文・目次データベース](#) ▷ [雑誌記事索引](#) ▷ [新聞記事索引](#)
▷ [学術一般・百科事典・博物館](#) ▷ [図書館・図書館情報学](#) ▷ [出版・著作権](#)
▷ [哲学・宗教](#) ▷ [歴史・地理・地域研究（日本）](#) ▷ [歴史的デジタル化画像](#)
▷ [歴史・地理・地域研究（世界）](#) ▷ [人物・肖像](#) ▷ [建築](#) ▷ [テレビ・ラジオ](#)
▷ [美術](#) ▷ [マンガ](#) ▷ [写真](#) ▷ [音楽](#) ▷ [舞踊・演劇](#) ▷ [映画](#) ▷ [諸芸・娯楽](#)
▷ [言語](#) ▷ [日本文学](#) ▷ [外国文学](#) ▷ [当館作成リンク集（その他）](#)
▷ [便利ツール](#)

検索エンジン（もっと見る）

- [Bing](#)
- [Google](#)
- [Internet Archive: Wayback Machine](#)

蔵書目録（もっと見る）

国内

人文リンク集

- [人文リンク集凡例](#)

一覧

[検索エンジン](#) [蔵書目録](#) [販売目録](#)
[和古書・漢籍目録](#) [全文・目次データベース](#) [雑誌記事索引](#) [新聞記事索引](#) [学術一般・百科事典・博物館](#) [図書館・図書館情報学](#) [出版・著作権](#) [哲学・宗教](#) [歴史・地理・地域研究（日本）](#) [歴史的デジタル化画像](#) [歴史・地理・地域研究（世界）](#) [人物・肖像](#) [建築](#) [テレビ・ラジオ](#) [美術](#) [マンガ](#) [写真](#) [音楽](#) [舞踊・演劇](#) [映画](#) [諸芸・娯楽](#) [言語](#) [日本文学](#) [外国文学](#) [当館作成リンク集（その他）](#) [便利ツール](#)

主題から調べる：人文科学

- [人文リンク集](#)
- [歴史](#) (52)
- [地理・民族・風俗](#) (15)
- [哲学・宗教](#) (11)
- [芸術・美術・建築](#) (31)
- [音楽](#) (27)
- [舞踊・演劇・映画](#) (15)
- [言語・文学](#) (36)

- NDC順
- 2階層
- 実際使う物
- 総記以外にも汎用性高いもの
- 契約DBも項目化＝国立図書館のモデル効果
- 注記は最低限採録年代など
- 使えないものははずす＝現役DBのみのリスト

実は、総記と人文（社会科学・自然科学以外は全部）

ツールのリスト*

* 専門語では「参考図書紹介」「参考図書の解題書誌」

規模	図書（冊子）を採録するもの	ネット情報源を採録するもの
小 (厳選)	①長澤雅男『レファレンスブックス』（2020）476点	① NDL人文リンク集 （2006, 公開2011-）約700件（1年に1割入替） ② 高鍬裕樹『デジタル情報資源の検索』（2005-2014） ③ 大学のDBリンク集、数百？
中	②『日本の参考図書（4版）』（2002）7033点 ②-a 日本の参考図書Web版 デモ版 ②-b NDL参考図書紹介 ②-c『日本の参考図書四季版』（1967-）	④『データベース台帳総覧』（1983-2005）約5000件？ ⑤ 調べ方案内（NDLリサナビ内） トピック別
大 (網羅的)	③『日本書誌の書誌』（1973-2006）採録は国初～ca.1970 ③-a『書誌年鑑』（1982-） ④ NDLオンライン の専門情報室開架分3万	⑥ NDLデータベース・ナビゲーション・サービス （Dnavi）（2002-2014停止）22,196件（2014現在21%が公開停止）

事例研究 予備知識やチップス いろいろ

どういう場合に、
どう考えて、
何と何を
どんな順番で検索するか

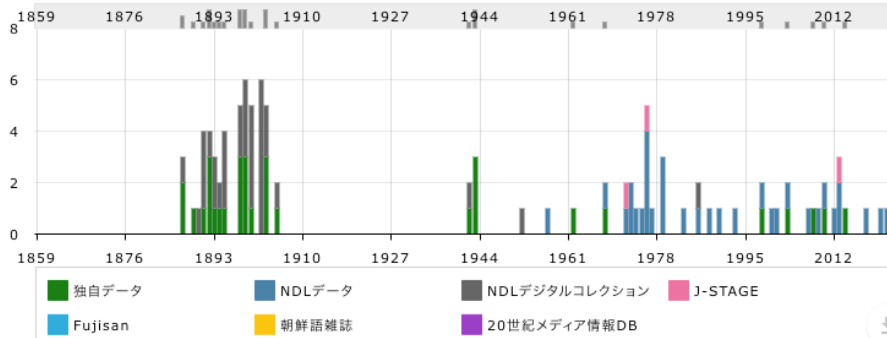
質問：「**書籍館**」という言葉はいつ頃使われなくなったのか？

初出系は日国などレファ本で出るが...
廃語の時期はネット情報源系でない

参考

鈴木宏宗. [明治10年代「図書館」は「書籍館」に何故取って代ったか](#)：「図書」の語誌に見る意味変化と東京図書館における「館種」概念の芽生え
近代出版研究 ([1]):2022 p.186-205

「書籍館」の検索結果一覧



検索条件を変更する

総件数:102件 表示速度0.0029

東京図書館及大阪書籍館の来観人

無記名

明治20年9月10日,東京経済雑誌,16(384)

最近、[NDLのNgram viewer](#)
 が開発(2023)された→

←棒グラフが出る雑索（ざっ
 さくプラス）が便利

トレンドもある程度わかる

ただし題目レベルであること、
 採録数3倍化1996-に注意

本サービスが利用しているAPIサービスは以下のリンクから開示されています。
 ・NDL Ngram Data<https://github.com/ndl-lab/ndlngramdata>
 詳細については<https://lab.ndl.go.jp/service/ngramviewer/>をご覧ください。

☒ 図書・雑誌(※約230万資料から集計) ☐ 図書のみ(※約97万資料から集計) ☐ 雑誌のみ(※約132万資料から集計)
☐ 著作権保護期間満了図書のみ(※約28万資料から集計)

書籍館

☐ キーワードの出現頻度を可視化



1件ヒットしました

検索結果も結果する

↓ 検索結果の出現頻度をダウンロード (最大10,000件) ↓ 出版年代ごとの総対象ngram数の情報をダウンロード

☒ 図書・雑誌 ☐ 図書のみ ☐ 雑誌のみ ☐ 著作権保護期間満了図書のみ

16

表示件数 100件

主題から調べる

資料の種類から調べる

テーマ別データベース

「探す」ギャラリー

[ホーム](#) / [主題から調べる](#) / [人文リンク集](#) / [雑誌記事索引](#)

雑誌記事索引

2023年9月 5日 更新 [人文総合情報室](#) 作成 [人文リンク集](#)[English](#)[▷ 全般](#) [▷ 一般雑誌](#) [▷ 学術雑誌](#)

全般

- [国立国会図書館オンライン \(NDLオンライン\)](#)  キーワード欄で雑誌記事索引・デジタルコレクション目次を一括検索

一般雑誌

- 20世紀メディア情報データベース (インテリジェンス研究所) 1945～1949
*当館未契約
- [Fujisan.co.jp](#) (富士山マガジンサービス) 目次
- [magazineplus](#) (日外アソシエーツ) *当館未契約
- [印刷博物館ライブラリー](#) 目次、特集タイトル
- 大宅壮一文庫 雑誌記事索引 (Web OYA-bunko) 1888～ *当館契約データベース (館内限定)
- [キカンシネット](#) (第一資料印刷) 目次、機関誌・広報誌
- 皓星社 雑誌記事索引集成データベース (ざっさくプラス) 明治～ *当館契約データベース (館内限定)
- [国立国会図書館デジタルコレクション](#)  資料群「雑誌」を選択→目次欄で検索
- [東京都立図書館](#) 目次、特集タイトル

学術雑誌

- [CiNii Research](#) (国立情報学研究所)
- [Directory of Open Access Journals](#)
- [Google Scholar](#)
- [Ingenta Connect](#)
- [J-STAGE](#) (科学技術振興機構) 電子ジャーナル
- [NII-REQ 電子ジャーナルアーカイブ](#) (国立情報学研究所) Springer・Kluwer・OUP・IEEEなど
- ProQuest 基本検索 British Humanities Indexなど *当館契約データベース (館内限定)
- Web of Science (Clarivate) *当館契約データベース (館内限定)
- [全国短期大学紀要論文索引PLUS](#) (実践女子大学・実践女子短期大学図書館)

人文リンク集

- [人文リンク集凡例](#)

一覧

[検索エンジン](#) [蔵書目録](#)
[販売目録](#) [和古書・漢籍目録](#)
[全文・目次データベース](#)
[雑誌記事索引](#) [新聞記事索引](#)
[学術一般](#) [百科事典](#) [博物館](#)
[図書館](#) [図書館情報学](#)
[出版](#) [著作権](#) [哲学](#) [宗教](#)
[歴史](#) [地理](#) [地域研究 \(日本\)](#)
[歴史](#) [地理](#) [地域研究 \(世界\)](#)
[人物](#) [肖像](#) [建築](#)
[テレビ](#) [ラジオ](#) [美術](#) [マンガ](#)
[写真](#) [音楽](#) [舞踊](#) [演劇](#) [映画](#)
[諸芸](#) [娯楽](#) [言語](#) [日本文学](#)
[外国文学](#)
[当館作成リンク集 \(その他\)](#)
[便利ツール](#)

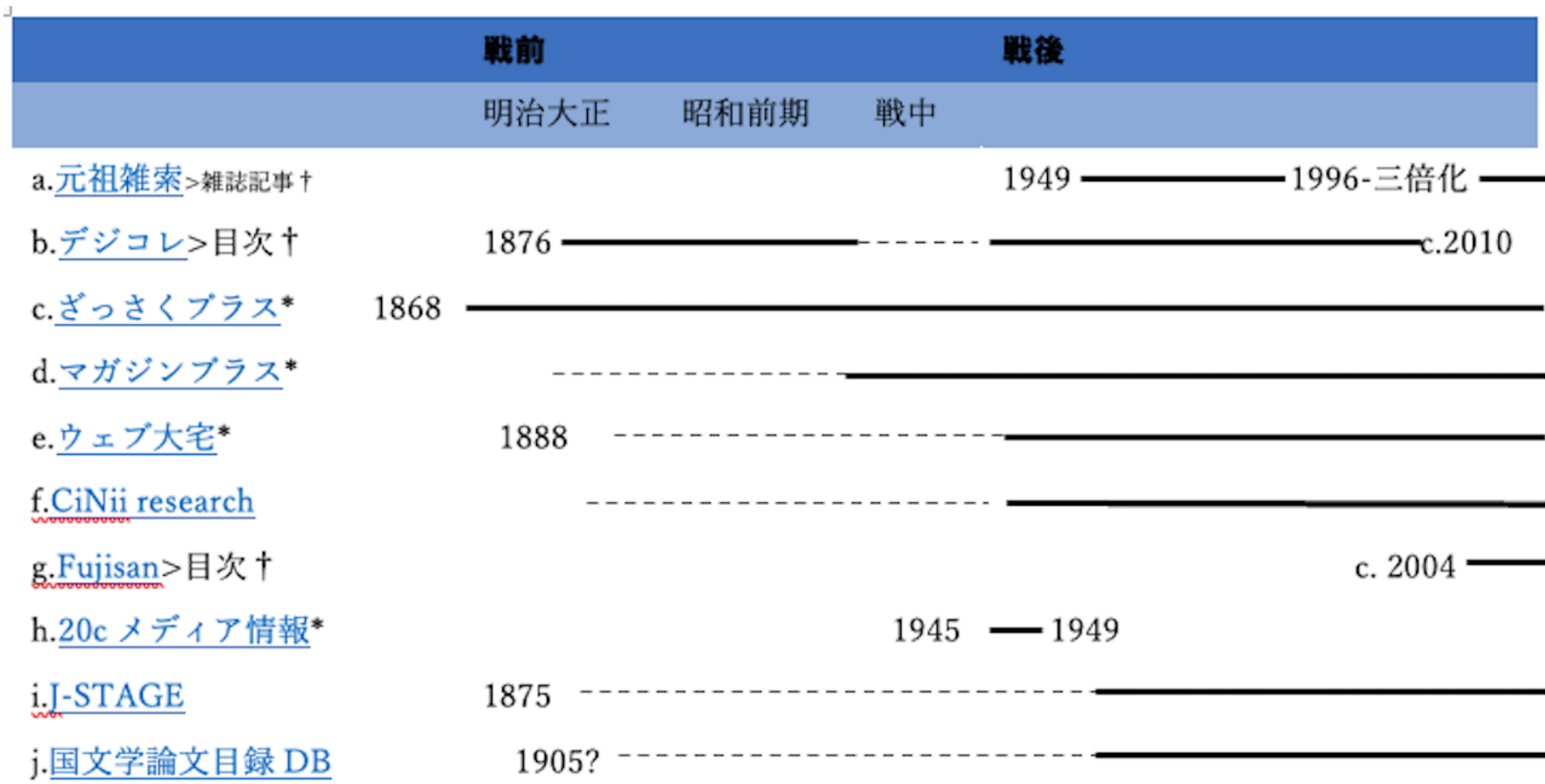
主題から調べる：人文科学

- [人文リンク集](#)
- [歴史 \(54\)](#)
- [地理・民族・風俗 \(15\)](#)
- [哲学・宗教 \(14\)](#)
- [芸術・美術・建築 \(32\)](#)
- [音楽 \(27\)](#)
- [舞踊・演劇・映画 \(15\)](#)
- [言語・文学 \(43\)](#)

主題から調べる：全般

- [統計 \(21\)](#)
 - [分野別統計書 \(32\)](#)
- [人物情報 \(38\)](#)
- [名簿 \(13\)](#)

各種雑索の採録年代



注) †は雑誌記事、目次欄を選択しないと雑索として使ったことにならないという意味。*は契約 DB (有料)。実線は採録年代。破線も採録年代だがやや弱い時期。

こういった知識をベテランは自然に身に着けている
リンク集には書ききれない→小林著 (2022) を参照

各種雑索の得意ジャンル

	記事件数 (年)	連携**	得意ジャンル(採録誌)	特徴
a. 元祖雑索	1330 万(2019)	-	月刊誌、主要学術誌	過去に分類あり
b. デジコレ >目次	1000 万?(推計)	-	すべて	帝国図書館所蔵誌
c. ざっさくプラス	3103 万(2022)	abfghi	すべて、文芸誌	戦前書誌、総目次
d. マガジンプラス	2036 万(2021)	ab	すべて、経済誌	論文集
e. ウェブ大宅	585 万(2022?)	-	週刊誌、総合誌	人物、キーワード
f. CiNii research	2063 万(2018)	a	学術誌	学術
g. Fujisan >目次	100 万?(推計)	-	女性誌、趣味誌、市販	趣味、生活、スポーツ
h. 20c メディア情報	196 万(2022)	-	すべて、新聞記事も	著者の肩書を採録
i. J-STAGE	539 万(2022)	-	理系学術 (文系も)	全文検索可
j. 国文学論文目録 DB	60 万(2019)	-	国文、文芸、書誌学	キーワード

注) **データの取り込み先。それも引ける。

質問：〈セルフ・レファレンス〉を提唱した都立図書館員の“**サイトウ・フミオ**”さん、いつ亡くなったんだっけ？

業界でちょっと有名だった人の履歴

参考

私のネット連載

「[ネット上で確からしい人物情報を拾うワザ——
国営の典拠DBを人名事典として使う](#)」

「[デジコレの2022年末リニューアルをチェック！
ファミリー・ヒストリー編](#)」

「[ネット上で確からしい人物情報を探すワザ 現代人編](#)」

人物調査の三類型

	例えば	記載がある資料 (人物文献・人名事典類)	探索ツールや 人物文献の性格
a 有名人	歴史上の偉人 大物政治家 有名タレント 大作家 大官僚	人名事典 一般年鑑 (の付録人名編) 紳士録 伝記 列伝	総記 (汎用) 系の代表的なもの レファレンス事典 (日外アソシエーツ)
b 限定的有名人 (半有名人)	政治家・官僚 学者・業界人 社長・重役 タレント 地方名士 著作者 犯人・被害者	紳士録 (人名鑑) 専門事典、専門人名事典 県別百科、地方人名事典・紳士録、淑女録 職員録 (日本政府の) 著作権台帳・NDL名称典拠 新聞紙・週刊誌、官報	専門別・業界別 地域別 同時代の汎用系ツール レファレンス事典 (日外アソシエーツ)
c 無名人	普通の人 市井人 一般ピープル	電話帳 名簿 (職員、同窓会など) 住宅地図 過去帳 (公開反対運動あり) 戸籍 (除籍簿。閲覧制限→直系子孫などに限定)、兵籍簿	参考図書と見なされづらいもの 非公刊、灰色文献 公文書、私文書

限定的有名人を調べる

Web NDL Authorities
国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス

キーワード検索 分類記号検索 典拠ID検索 English ヘルプ
斎藤, 文男, 1950-2013 検索
☒ すべて ☐ 名称のみ ☐ 普通件名のみ

[検索結果に戻る](#)

斎藤, 文男, 1950-2013

ID	00798304
典拠種別 skos:inScheme	個人名
名称/タイトル xl:prefLabel	斎藤, 文男, 1950-2013
名称/タイトルのカナ読み ndl:transcription@ja-Kana	サイトウ, フミオ, 1950-2013
名称/タイトルのローマ字読み ndl:transcription@ja-Latn	Saito, Fumio, 1950-2013
生年 rda:dateOfBirth	1950
没年 rda:dateOfDeath	2013
関連リンク/出典 skos:exactMatch	NDL00798304 (VIAF)
出典 dct:source	資料提供としてのレファレンス・サービス / 斎藤文男 編著 本人回答 実践型レファレンス・サービス入門, 2019.5 (没年)
編集履歴 skos:historyNote	没年追加 (20190625)
作成日 dct:created	2000-03-02
最終更新日 dct:modified	2019-06-28T13:27:15
外部サイトへのリンク	Wikipediaで検索を行う ※Wikipediaの検索結果の一覧が表示されます。

他形式のデータ [RDF/XML形式](#), [RDF/Turtle形式](#), [JSON-LD形式](#)

国立国会図書館のサービス

以下のリンクボタンから国立国会図書館オンラインで検索ができます。

著者名検索

件名検索

- 本を書いた人なら全員→NDL典拠に
<https://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh>
- 「よみ」だけでも引ける
- 姓名はスペースで切り離して

一般人名辞典には「超有名人」しか載らない...

レファレンス難易度の時代区分 (日本限定)

	前近代	戦前		戦後		
	江戸時代	明治大正	昭和前期	昭和後期	情報化	ネット時代
年代	～1868	～1923	～1945	1945～	ca.1985～	ca.1995～
レファ 難易度	ある意味 容易	相当困難	そこそこ 困難	普通	比較的 容易	容易
要因	質問の出 典が限定 的	関東大震 災	空襲	全国書誌 や図書館 の発達	デジタル ボーンの テキスト	HP, ブログ など

常識すぎて、ほとんど書かれない
前近代が容易なのに注意

(おまけの議論)

- 人文リンク集（広汎なリンク集）＋レファレンスチップスと、パスファインダーの集成はどう違う？
- 主題は割合と小さいトピック≡件名
eg. 書評を見つけるには？
- そもそも該当するパスファインダーが無かったらどうすれば
→汎用ツールを特定の使う
eg. 雑索を書評作品として使う
- 各大学図書館で創っているリンク集の比較研究が必要
- 『調べる技術』の続き
→https://www.librokoseisha.co.jp/webcolumn/reference_tips2_01/

